※令和３年度以前入学生用

学校番号	324

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説　日本史　改訂版』（山川出版社）						
副教材等	『新詳日本史』（浜島書店）、『ステップアップ日本史』（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の歴史の展開に関わる諸事象について、史資料等を活用して更に細かく理解を深め、現代社会の諸問題について考察・議論し、よりよい社会を構築する一助とする。
・現代の国際社会で活動するために、日本の歴史及び関係国の知識を得ることにより、他国の歴史や異文化を理解し、他国の歴史や異文化を尊重・協調する姿勢を養う。
・「世界の中の日本」を意識し、公正かつ客観的な視点で、歴史的事象を多面的に捉える柔軟な視点を培う。

２　学習の到達目標

日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連づけて、史資料に基づき総合的・客観的に考察し、日本の伝統と文化の特色についての認識を深め、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料から有用な情報を活用して探求し、自身の考えを論述したり、図表にまとめたりしている。	日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ノート ワークシート 学習状況の観察	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	幕藩体制の確立	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造	 ○	○ ○	○ 	○ ○	a:江戸幕府の成立にいたるまでの社会・経済を、世界史的背景もふまえて多角的に考察する。 b:国際社会の動向や兵農分離策を踏まえて織豊政権の特色を理解し、次の幕藩体制につながる影響を考察する。 c:史料から政策の内容を読み取り、絵画資料などから文化の特色を読み取る。 d:桃山文化の特色や幕藩体制下の支配体制について基本的な知識を身に付ける。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察
	幕藩体制の展開	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	○ 	○ ○ 	○ ○	○ ○ ○	a:幕政の安定期について、諸産業の発展・平和と秩序の確立の視点から考察する。 b:文治政治への転換、町人の経済的繁栄を背景とした元禄文化について、社会の変化と関連させて考察する。 c:史料や絵画資料などから諸産業と経済の発達、それに対する幕府の政策の内容や意図を読み取る。 d:諸産業や経済の発展と安定期の幕府の諸政策について理解する。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察

※令和３年度以前入学生用

	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：幕藩体制の動揺とその対策としての諸改革および近代化の基盤形成について多角的に考察する。 b：幕府の衰退と雄藩の出現過程を国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応も踏まえて考察する。 c：史料や絵画資料などから幕府や諸藩の諸政策の内容、庶民文化としての化政文化における近代化への萌芽を読み取る。 d：諸改革の内容、列強の接近に伴う対応や社会の変容を理解する。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察
後期	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：国際環境が変容する中、新政府の制度改革や経済政策などに着目して近代国家の基盤の形成過程を考察する。 b：近代国家の成立と条約改正交渉の進展、日清・日露開戦に至る経緯について諸外国の動向と関連づけて考察する。 c：史料などから政府の諸政策の内容と意図、その社会的影響などを読み取る。 d：近代国家における政治・社会・経済の発展について、その問題点も含めて客観的に理解する。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察

※令和３年度以前入学生用

	二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：２度の世界大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b：日本国内の政治、経済の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のおこなった戦争の性格について考察し、適切に表現している。 c：２度の世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用する。 d：戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどのような性格であったかを理解し、その知識を身に付けている。戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○ 	 ○	○ ○	○ ○	a：戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 b：東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 c：占領下の政策や、日米安保条約などの内容を読み取り、この時期の日本の様子や国際関係を考察する。 d：戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法の制定の意義や、当時の国際関係についての知識を身に付ける。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察

※令和３年度以前入学生用

	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ	 ○	○	○ ○	○ ○	a:戦前と異なり戦後は国民が主人公になった時代であることや、戦後の社会の変化の大きさに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的な違い、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことについて考察し、適切に表現している。 c:新聞や雑誌・漫画から戦前と戦後の変化を読み取ることができる。様々な史料から戦後日本を世界史のなかに位置付けて考察し、その特徴を読み取る。 d:戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したことを理解し、その知識を身に付けている。戦後世界の動向と日本との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察
	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の動揺	○ 	 ○	○ ○	○ ○	a:経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本のかかえる課題などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:現代日本のかかえる様々な課題について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:年表や新聞、雑誌を活用して現代の日本と世界の関係について調べるための情報を適切に選択している。 d:戦後の世界と日本の変化の過程を事実にもとづいて理解し、その知識を身に付けている。21 世紀の展望をもつ。	定期考査 ノート ワークシート 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※令和３年度以前入学生用

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。